

Ca ²⁺				493000	
				担当部署	
Ca 2+				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 2 茶	なし	3	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間			保存不可		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		設定なし			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		生理的な活性をもつ Ca はイオン化 Ca であり、各種酵素の活性化、細胞間の接着、血液凝固等に関与している。 さらには細胞膜の透過性を制御し、神経伝導物質を放出をして、神経、筋の興奮を沈静させる作用も有する。 細胞内のイオン化 Ca は、前述のようにきわめて微量であるが細胞の機能調節に関わり、生命維持に重要な役割を果たしている。一方、過剰な Ca は細胞毒にもなり得る。 臨床検査提要 改訂第 35 版 578			